



令和6年3月15日

水戸市青少年育成推進会議  
会長 坏 哲男  
水戸市教育委員会事務局教育部生涯学習課内  
水戸市中央1-4-1 ☎029-306-8692



水戸市役所HP  
(水戸市青少年育成推進会議)

# 道 芝

みちしば

「踏まれても根強く耐え、そっと腰をおろせばやさしく憩わせてくれ、子どもたちを伸び伸びと遊ばせてくれる道芝」

私たちは、明日を担う青少年の健全な育成を図るため、市民の皆様とともに行政と一体となつてきめ細かな青少年育成活動を力強く推進しています。

## 青少年若者体験活動事業



## 中学生交流会



P2.3 青少年指導者  
研修会

P4 社会環境向上  
研修会

P6 わたしたちの  
地域①  
笠原中学校区

P7 うちの子  
となりの子

# わくわくドキドキみんなであそぼ！

## 青少年若者体験活動事業

### 中高生が企画サポーターとして運営

企画会議

当日

とき／令和5年8月22日(火)

ところ／三の丸市民センター

とき／令和5年10月22日(日)

ところ／水戸市少年自然の家

子どもたちが同じ目標に向かってグループで活動し、課題を解決していく中で、経験を通して自己肯定感やコミュニケーション能力を向上させることを目的に実施しました。

今回は、初めて「企画サポーター」として、中高生(ジュニアリーダー、サブリーダー)が企画の段階から参加し、当日の内容やスケジュールについて話し合い、役割分担、準備をしました。

小学生57名の参加者が集まった当日は、各グループのお世話役に徹し、小学生が自分たちで課題に取り組む作業の見守りをしっかり行いました。

#### \*館内謎解きゲーム

館内の各所に謎解きゲームの問題を設置。難易度によりポイントが決められ、解答し獲得したポイントを集計します。

#### \*みんなで昼食

昨年までは黙食でしたが、ジュニアリーダー、サブリーダーとともにみんなで語らいながら楽しく昼食をいただきました。

#### \*森の中で宝さがし

コース内に隠された折り紙の文字を集め、キーワードを完成させます。所要時間でのポイントも大きく、走り回ったりせず

に班でまとまった行動をするところが大切となります。キーワードを提出後、広場でレクリエーション。大人がついていけないほど動き回り、しっかりと思い出を心と体に刻みま



#### \*閉会式

各グループのポイントを集計し、表彰をしました。写真撮影を行い、帰路につきました。

参加した小学生だけではなく、中高生にとっても色々な体験ができ、達成感が味わえた事業だったと思います。今後更に充実した活動ができるよう努めます。



## 青少年指導者研修会

第1回 講演「水戸こどもの劇場の活動紹介」

「地域活動を活性化する術」

ワークショップ「地域活動を活性化するには」

講師 認定NPO法人水戸こどもの劇場

代表理事 平野 弥生 氏

水戸市訪問型家庭教育支援員

白石 力 氏

とき／令和5年8月2日(水) ところ／水戸市役所

前半の講演では、水戸こどもの劇場での具体的な活動の紹介や組織運営方法に関する貴重な情報が提供されました。特に、地域でのプロジェクト運営における実践的なノウハウや成功事例が紹介され、これを通じて新たな視点を

を得ることができました。質疑応答の時間では、会員の集め方やプロジェクトの運営体制の詳細など細かい知見の共有もされました。

後半のワークショップでは、「地域活動を活性化するには」というテーマでディスカッションが行われ、各チームが意見を出し合いました。

あるチームでは、活動場所の選定について熱心な議論が展開され、居場所として学校を借りる場合は「先生の負担やセキュリティについても配慮する必要があります。予想以上に難しい」という実体験なども共有されました。これにより、

実践的な問題に対する理解が深まり、地域活動の運営において、より効果的なアプローチが模索されました。

今回の研修会は、当会のメンバーにとつて実践的な知識や経験を得る良い機会であり、今後の地域への貢献に向けて意欲を高める契機となりました。

この研修で得た知見は今後の地域活動に生かしていきたいと思



テーマ

# 「安全なまちづくりについて」

くわたしたちにもできることく

とき／令和5年12月17日(日) 10時～16時 ところ／水戸市役所

市内の中学生が交流し、意見交換することで、幅広い視野を持ち、社会参加への意欲を高めることを目的に開催しました。



自分の考えやアイディアをテーブルに広げた大きな円形の模造紙にどんどん書き込んでいきま  
す。より見やすく伝わりやすく  
するためにイラストや矢印など  
を入れたり、文字の大きさや色  
を変えたり、アイディアを出し  
合いながら整えていきました。  
あつという間にグループ発表  
の時間。やや緊張して前に立ち  
ます。

- ・四つの視点から考えてみました
- ・助けられる側から助ける側へ
- ・自意識と他意識を向上させて…
- ・交通マネーアップ委員会を設置し
- ・安全への理解を楽しく学び…
- ・当たり前を当たり前に
- ・近所の人と関わりながら
- ・意識を変え、環境を変える
- ・高校生や大人と協力しながら

発表の度に大きな拍手が巻き  
起こりました。内容や態度の素  
晴らしさはもちろんですが、充  
実した話し合いの過程に対して  
互いに敬意を表しているようで  
した。サプリーダーズ会の高校  
生も発表し、それはまるで水を  
得た魚のようでした。

市総合教育研究所の瀧健一所  
長から「自分意識を持って具体



的で、しかも具現化できる提案  
をしてくれました。次世代を担  
うリーダーとして今日の経験を  
学校・地域・家庭に広めていっ  
てください。」との温かいエー  
ルをいただきました。  
自身の思いや考えを文字や声  
にし、仲間の意見に耳を傾け、  
尊重し合い刺激し合い、スキル  
アップした中学生たち。瞬く間  
に和やかでリラククスできる雰  
囲気づくりをしてくれたサプ  
リーダーズ会の高校生たち。参  
観した大人たちも元氣と希望を  
お裾分けしていただきました。  
ありがとうございました。

第2回 講演「今、子どもたちにもできること

くワークショップで考えるく

講師 水戸市青少年育成推進会議

副会長 川野邊 洋美 氏

とき／令和5年11月8日(水) ところ／水戸市役所

始めに子どもの権利について  
お話いただきました。子ども  
も一人の人間であり、子ども  
も声(態度やしぐさも意見  
の表明)を聴くことが大事な  
こと。しかし、子どもの意見  
を全て聞くということではな  
く、その中で子どもにとって  
何が最善のかを、大人の都  
合ではなく判断することが大  
切だということでした。

そしてグループに分かれて  
のワークショップ。子ども会  
入会が減っている今、子ども  
の居場所はあるのか。では、  
どうしたら居場所を確保して  
あげられるのか。また、保護  
者の負担を減らしつつ、子ど  
もの居場所を確保するにはど  
うしたらいいのか、などの  
様々な課題が出ていました。

では、その課題に対してわた  
したち大人はどうすべきか。  
保護者の負担を減らすならば  
地域の方々に協力をお願いし  
たい。ではどうやって協力を



お願いすればいいのか。地域  
の大人に限らず、地域の枠を  
超えて、大学生などに協力を  
お願いしてもいいのでは。な  
ど、今回のワークショップで  
はワールドカフェ方式という  
ことで、グループで結論を導  
き出すというよりも意見を出  
し合うような形となりました。  
最後には「カタルタ」とい  
うカードを使って今の気持ち  
についてそれぞれが語り、  
色々な意見を聴けた有意義な  
研修会でした。

## 社会環境向上研修会

とき／令和5年12月16日(土) ところ／水戸市役所

### 「子どもたちのために何ができるか ～育成に関わることの大切さ～」

講師

茨城県生涯学習・  
社会教育研究会

会長

長谷川 幸介 氏

青少年相談員連絡協議会及び水戸市教育委員会と共催で実施しました。

昨年引き続き、長谷川先生をお招きして、地域の大人たちが青少年の健全育成に関わることの大切さを再認識し、何ができるのかを話し合い、家庭や地域における教育力を向上させることを目的に開催しました。

- ・人の「子育て」には、「子育て支援」が必要
- ・未熟な身体と可能性に満ちた人間性を支える
- ・学校の特質と社会の転換

・教師がワクワクしなければ、子どもはワクワクするわけがない

・子どもに手渡される社会力の豊かさとは歴史性  
右記のような講演を聴いた後に、ワールドカフェ方式で3回メンバーをシャッフルし、4つのテーマでグループトークを行いました。

- ① 子どもたちに関わるどのような問題があるか
- ② ①の問題にどう対応するか
- ③ ②のやり方と問題の改善点
- ④ どのように団体とつながったら実現するか

子どもに関わる問題は、心の不調、不登校、SNSにまつわる種々の問題、支援を必要とする人とながることの難しさ等、色々出されました。1回目のメンバーの入れ替え後、では、その問題にどう対応するか一つ一つについて考えていきました。2回目の入れ替え後、更に改善策を考えました。3回目の入れ替え後、色々ある団体とのつながり方について考え、話し合いました。

問題を解決するためには、問題と当事者を理解することが大切。話せる人と話せる場が必要。子ども会が必要。地域の力が必要。市民センター、学校、各団体とのつながりが大切で、皆の意識の啓蒙が必要。等々の意見が出され、研修会は貴重な場であると再認識いたしました。



## 子どもの安全を守る家

### ウチハラGOウォークラリー

### 子どもの看板をさがせ



令和5年11月25日に、内原地区青少年育成会青少年社会参加部会によるウォークラリーが行われました。鯉淵・妻里・内原小学校の児童が、内原小学校区の「子どもの安全を守る家」の看板がどこにあるか探し、確認するという新たな取り組みです。

当日は、親子7組15人が参加しました。ウォークラリーを行う前に、看板を設置してくださっている方へ渡すお礼の手紙を子どもたちが書きました。感謝の気持ちとともに、心を込めて塗り絵をする様子が見られました。

その後二つのグループに分かれてウォークラリーに出かけました。地図を片手に、通学路のどこに困ったときに駆け込める場所があるのかを確認し、書いて



た手紙を投函しました。子どもたちは、「ここにある！」などと楽しみながら、一時間ほど歩きました。

自分たちの通学路のどこに看板があるのかを知ることが、非常に重要なことです。内原地区では、次年度以降も実施学区を変えて行っていく予定です。

## 中川實氏が講演

10月25日(水)本推進会議理事会の前に「青少年育成に求められること」をテーマとした中川實元会長の講演に約30名が耳を傾けました。

本推進会議の活動方針に触れつつ、今、教育力が低下しているが、「あいさつの習慣や規則正しい生活のリズムについて、親子で話し合えば子どもは立派に育つ」と力強く話してくださいました。

# 「家庭の日」絵画ポスターと作文コンクール

水戸市青少年育成推進会議では、家庭の大切さ、家庭の役割のすばらしさについて改めて考える毎月第3日曜日の「家庭の日」の普及啓発に取り組んでいます。その一環として、家族で過ごした思い出やこんな過ごし方をしたいという希望などを題材に絵画や作文を募集しました。1,812点の作品が集まり、審査の結果11月18日に表彰式を開催しました。8ページに絵画・ポスターの部の会長賞受賞作品を掲載しておりますので、あわせてご覧ください。

## 入賞者一覧 (敬称略)

### 絵画・ポスターの部

#### 👑 会長賞

大和久 凌  
佐藤 旬  
宮本 陽菜  
富田 実楠

#### 👑 教育長賞

長谷川 莉緒  
加藤 歩昂  
名畑 亜蘭  
大倉 悠華

#### 👑 奨励賞

伊藤 大生  
大部 翔生  
仲田 智尋  
富田 琉愛

### 作文の部

#### 👑 会長賞

生田目 夏乃  
古澤 美羽  
遠藤 舞姫

#### 👑 教育長賞

藤田 初斗  
春山 結栞  
川原井 栞

#### 👑 奨励賞

三好 史織  
長山 日菜詩  
牧山 心愛



〔絵画・ポスター部門〕幼児の部、小学生低学年の部



〔絵画・ポスター部門〕小学生高学年の部、中学生の部



〔作文部門〕小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部



イオンモール水戸内原にて展示(令和5年11月17日~11月26日)

令和5年度回収点数  
1,581点(1月末現在)



**有害図書等回収事業**  
(白ポスト)

子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へ

地域・環境部会では、「家庭の日」推進事業、社会環境向上活動、緊急避難所「こどもの安全を守る家」事業、青少年健全育成標語塔事業の他、月に1回、水戸駅南口や赤塚駅南口など市内9箇所を設置された白ポストによる有害図書等の回収作業を行っています。子どもに見せたくない雑誌、ビデオ・DVDは「白ポスト」へ。



# わたしたちの地域⑪

## 笠原中学校区

### 「地域のチャレンジ」



笠原中学校区では、地域と学校が協働し、様々な取り組みにチャレンジしています。

○コロナ禍で直接触れ合うことは難しいが、何か出来ないか?という思いで

始めた「花いっぱい運動」。初めは中学校の花壇整備から取り組み、今年度は笠原中、笠原小、寿小、3校の整備を行いました。

○中学生へのアンケートを元にスタートした「地域の絆プロジェクト」。地



美術部の子どもたちが看板を手作りしてくれました

○学校に来ることに不安を抱える子どもたちと共に歩みたいという思いで始めた「みんなみんなのいずみパーク」。学校がお休みの日、学校の敷地内でミニコンサートやゲーム等を行っています。昨年度は12月と3月、今年度は

域サポーターが講師を務め、9月に英語学習のサポート、12月にダンス教室を実施しました。英語サポーターには笠原卒業生の高校生も参加。子どもたちは熱心に学習に取り組んでいました。

8月と2月の開催となりました。いずみパークをきっかけに学校に行こうと思ってくれた子どもたちがいたことを聞き、役員たちは笑みがこぼれました。○子どもたちだけでなく、保護者のことも支えたい、と生まれた「かさはらカフェ」。同じ悩みを持つ親たちがお互いの経験を話すことができる貴重な場となっています。今年度は、6月、9月、12月、2月に開催しました。

今後とも地域の力でできることを模索し、より多くの人材が関われる場を増やしていきたいと考えています。



「いずみパーク」で人気の射的コーナー

## 君もサブリーダーになろう!

### 水戸市サブリーダーズ会とは…

水戸市に居住又は市内の高等学校に通う高校生によって組織されるボランティア団体です。

水戸市教育委員会の指導のもと、様々な団体や市などの事業の運営補助を行ったり、会員自ら事業の企画・準備・運営を行ったりしています。

これからの時代、予測不能な社会の変化に対して、他者と協働して課題を解決する力や新たな価値を創造する力を身に付けて、様々な変化に柔軟に対応できる人材を目指しています。

### 新会員募集

入会を希望する方は、入会申込書(水戸市ホームページよりダウンロードできます。)をご記入の上、水戸市生涯学習課までご持参ください。水戸市に居住又は市内の高等学校に通う高校生なら誰でも入会できます。

年会費/350円  
申込み・問合せ/

生涯学習課  
(029-306-8692)



水戸市  
サブリーダーズ会  
公式HP



水戸市  
サブリーダーズ会  
X(旧Twitter)

# つなごう



教職の道を歩み始めてから三十有余年。これまでの道のりは、常に人と人とのつながりによるものであったと感じています。

今年度、本校では、数年ぶりに全校生徒が集つての体育祭・合唱コンクールが開催されるなど、コロナ禍で失われていた学校教育活動にも活気が戻りつつあります。

そのような中、地域の夏祭りボランティアに参加したある生徒が、「小さな子どもからお年寄りまで、多くの方々が自分たちの運営するブースに来てくれて、感謝の言葉をたくさん

聞いたとき、充実した活動ができました」と、当時の話を聞かせてくれました。

また、地域の方から学校に電話をいただき、「毎日元気にあいさつをしてくれる中学生が多くいます。朝からいい気持ちで過ごすことができます。感謝の気持ちでいっぱいです」

## つながり

との思いを伝えてくださったこともありました。

子どもたちは、人と人とのつながりの中で、日々成長していきます。授業も、部活動も、学校行事も、全ての教育活動が人と人とのつながりの中で営まれています。

人とのつながりを大切にすることは、その後の人生の豊かさにつながります。人とのつながりを大切にすることで、自分は一人ではないことに気付くこともできます。

素直な心を持ち日々成長していく子どもたち。その子どもたちと常に寄り添い共に歩もうとする先生たち。そして学校教育活動を支えて

くださる保護者や地域の方々。年号の変遷とともに社会も大きく変わり、これからは、将来の変化を予測することが

困難な時代が訪れる、と言われていきます。社会が大きな変化を遂げようとしている今だからこそ、人と人とのつながり、学校・家庭・地域とのつながりを大切にしていきたいものです。

(水戸市立第四中学校 校長 鎮目 英俊 記)

## 「第8回水戸黄門漫遊マラソン」応援記

10月29日、1万人以上のランナーの皆さんが、水戸のまちを駆け抜けました。

沿道の至る所で多くの市民の皆さんが「ガンバレ！」と声を掛け、手旗を振り熱い応援を届けました。

当推進会議の応援隊も5km付近の国土交通省近くで、引きも切らず通り抜けるランナーを出迎えました。

家族がランナーとして出場している応援隊は、手作りの団扇等でひととき大きな声援を送ります。職場ぐるみで

参加している方々は励まし合いながら走り、応援団も一人一人の名前を呼びながら励ましています。

ランナーにとつて沿道の声援はとても力になり、水戸の応援隊は全国的に見ても素晴らしいとの声が寄せられています。

ランナー、応援隊ともに幅広い年齢層の方々が交流できた一日。来年も更に多くの応援隊が熱い声援を送ることができるよう願っております。

(本郷 きぬ子)



今年は久々にハイタッチも声援も全面解禁。思う存分声を出しました。

### 青少年育成推進会議運営に御協力を!

会員、賛助会員及び町内会長の皆様に感謝申し上げます。賛助会員の1層のご加入をお願いいたします。

#### 令和5年度の賛助会員

##### ○法人・団体の部

- 株式会社 川又楽器店
- 水戸ライオンズクラブ
- 水戸南ライオンズクラブ
- 水戸東ライオンズクラブ
- 水戸更生保護女性会
- 茨城県信用組合
- 中央労働金庫 茨城県本部
- 水戸西ロータリークラブ
- 水戸東ロータリークラブ
- 水戸南ロータリークラブ
- 水戸ロータリークラブ
- 水戸さくらロータリークラブ
- 水戸西ライオンズクラブ
- 株式会社 吉田石油
- 水戸市スポーツ協会
- 水戸市スポーツ少年団本部
- 国際ソロプチミスト水戸
- 高島通信電設 株式会社
- 水戸ブロック
- 明るい社会づくりの会
- 水戸商工会議所青年部
- 公益社団法人 水戸青年会議所
- 有限会社 湖南家具販売
- 有限会社 水戸トータルオフィス

##### ○個人の部

(敬称略・順不同)

- 岡崎 充
- 篠田 郁
- 中田 朋
- 大山 康
- 山須 洋
- 川野 文
- 白藤 直
- 川石 宏
- 齋藤 謙
- 和野 一
- 宮本 謙
- 本郷 佳
- 齊藤 昭
- 元濱 昭
- 木下 智
- 芝間 紀
- 白田 茂
- 綿引 静
- 萩谷 夫
- 石川 司
- 小塚 真
- 藤田 秀
- 大高 一
- 茂垣 は
- 生井 恵
- 井沢 美
- 環 哲
- 綿引 勝
- 関口 久
- 金成 慶
- 桑名 誠
- 桑名 誠
- 吉田 誠
- 梶田 誠
- 林田 誠
- 滝澤 重
- 笹沼 重

※本人の御意向により未掲載の方もいらっしゃいます。

# 「家庭の日」 絵画・ポスター会長賞作品

5ページに「家庭の日」絵画ポスターと作文コンクールの概要を掲載しています。



▲「今年もとれた！家族で味わう初スイカ」 内原小学校 宮本 陽菜



▲「みんなでスイカわり」 酒門幼稚園 大和久 凌

茨城県青少年育成協会の令和5年度「家庭の日」絵画・ポスター最優秀賞に選ばれ、2月28日の青少年健全育成茨城県推進大会において表彰されました。



▲「かぞくみんなで水あそび」 吉沢小学校 佐藤 旬



▲「黄門祭り」 第四中学校 富田 実楠

中学生の主張を聴いて 一緒に考えてみませんか

## 第38回水戸市少年の主張大会

水戸市公式 **YouTube** チャンネルにて **音声** を発信しています！

**令和5年 公開中**

←QRコードを読み込んで聴いてみよう！  
<https://www.city.mito.lg.jp/site/education/30841.html>

水戸市では、市内の中学生が日頃感じたことや考えていることを主張文にまとめ、発表する「水戸市少年の主張大会」を毎年開催しています。

大会をとおして、中学生が、社会に対する関心を高めるとともに、現在どのような問題と向き合い、どのような意見を抱いているのかについて、社会全体で共に考える機会を得ることを目的としています。

第38回(令和5年度)水戸市少年の主張大会の優秀賞・佳作受賞者による主張文の発表音声を公開しておりますので、ぜひお聴きください。

※動画(音声)は予告なく終了させていただきますので、あらかじめご了承ください。

21校 39名の発表が聴けるよ！

- 石野 奈緒美(育成者)
- 川又 宏文(育成者)
- 本郷 きぬ子(育成者)
- 綿引 浩子(飯富)
- 相羽 晴子(五中)
- 御手洗 太二(二中)
- 戸崎 力郎(二田)
- 芝間 紀子(緑波)
- 木山下 智和(四岡)
- 中村 祐子(四川)
- 大村 典子(見原)
- 高はづき(笠原)
- 野智 一(内原)
- 井川 健一(原)

### 編集委員 (○委員長)

### 編集後記

コロナが5類になって1年近く経ちましたが、マスクを外せない子どもたちが多くいます。令和4年度の不登校の割合は、茨城県の小中学校が全国ワーストになったとのこと。子どもたちの表情が分からないなか、「今まで通りではない」「という現実がはっきり分かれます。推進会議として、できることを常に考え、行動し、市民の皆様と共に学び続けることで、おぼろげに解決のための方向が見えてくるのかもしれない。」

(T・M)